



発行 社会福祉法人 玖珠町社会福祉協議会 TEL72-5513 FAX72-2816  
大分県玖珠郡玖珠町大字岩室24番地の1 (くすまち総合福祉センター内)

## 支え合いマップづくり講演会



2月18日に社会福祉協議会にて、住民流福祉総合研究所の木原孝久先生に「住民流助けあいあいこし」と題して、支え合いマップづくりの講義を行つていただきました。

支え合いマップづくりとは、住民のふれあいや助け合いの実態を地域の人から聞き取り、地図に住民の助け合いを記入していくことです。地域にどんな福祉課題があり、住民はどう対処しているかが「見える」ことで、これがらどんなことに、どんなふうに取り組んだらいいのかを考えるきっかけとなります。

当日は、地域づくりの方法としてたくさんの方々がその手法を熱心にお聞きっていました。

午後からは昭和町・四日市地区の方が実際にマップづくりを行いました。見えてきた課題について、活発的な意見が出されました。

# 地域福祉地区懇談会・地域支え合い会議を開催しました。

平成27年度に「第4次地域福祉活動計画」を策定しましたが、今回その経過の報告と地域の皆さまからのご意見をお聞きするため、地域福祉懇談会を町内7カ所で、また支え合い会議を町内4地区で開催しました。多くの住民の方々のご参加をいただき誠にありがとうございました。

地区別懇談会では地域福祉全般について、支え合い会議では介護予防等の高齢者福祉について意見交換を行いました。

地域の課題や今後の福祉に対しての対応について、いただいた貴重なご意見を受け止め、住民の皆さまや関係機関と協働しながら、より効果的な取り組みを行っていきたいと考えています。

## ＜いただいたご意見＞

### 地区懇談会では…

- ・若者の定住や人口増への具体的対策はどうなっているのか。
  - ・自治区自体で考えることが必要では。
  - ・行政の福祉計画などとの連携が必要。
  - ・防災訓練は自治区単位で行った方がよいのでは。
  - ・日中、高齢者のみで過ごしている。防災訓練が必要。
  - ・買物が困難な地域に移動販売車を導入してほしい。
  - ・移動の手段がない人が必要なときに利用できる交通システムを検討してほしい。
  - ・見守りネットワークを自分たちでやってみることも必要ではないか。
- など



### 支え合い会議では…

- ・生活課題についてのアンケート調査をいきいきサロンや老人クラブで行ってみたらよいのでは。
  - ・住民自身が何ができるかを考え、できないところを支援してもらうのがよいのでは。
  - ・住民ができるところから少しづつ段階を踏んで地域福祉を行っていくことが大事だと思う。
  - ・地域の人間関係が良ければ地域福祉も改善する。
  - ・自治委員・民生委員との連携が必要だ。
  - ・若い人・男性の参加が少ない。少しからだが悪くなればすぐに入院・入所となる。
  - ・集いの場から見守りネットワークをつくってみる。
  - ・高齢者が現役でいられる生き甲斐作りが必要。
- など



# 地域版いきいき元気教室がかわります！



高齢になっても、住み慣れた地域でいつまでも元気に生活できるように、健康づくりをめざし開催していました、いきいき元気教室の時間帯が変わります。

## 変更後：午前中の9：30～11：30

これから教室は“明るく健康な毎日の生活をめざして”をテーマに、運動・栄養・口腔・認知症予防を週1回約3か月間、取り組んでいきます。

何となく筋力が落ちてきたと感じる、つまずいたり転びやすくなったり、食事のときにむせやすくなったり、ちょっと物忘れることが気になってきた、外出の機会が減って動くのが億劫になってきた、足腰が痛むのは年齢のせいだから仕方ないなどと思っている皆さん、是非ともご相談ください。

### [問い合わせ先]

玖珠町地域包括支援センター ☎ 72-7154

玖珠町社会福祉協議会 ☎ 72-5513



ありがとうございました。  
ご寄贈誠に  
充実・強化に  
取り組む体制  
を築くため幅  
広く有効に活  
用させていた  
だきます。



大分県生命保険協会より福祉車両を寄贈していただきました。善意銀行を通じて、今回は玖珠町社協と由布市社協に軽自動車が寄贈されました。  
贈呈式では、大分県生命保険協会の方より目録を渡していただきました。  
「福祉のまちづくり」を推進するため、サンの普及活動をはじめ、支えあいまップづくり、小地域でのネットワーク活動や福祉人材育成など、福祉力の

いたしました  
**地域福祉活動車**

# 《生活困りごとの相談窓口のご案内》

急に病気になって働けなくなった、収入が不安定で生活に困っている、借金が多く悩んでいる、家族が何年も引きこもっていて将来が心配、どこに相談していいのかわからない困りごとがある、など生活の中での心配事、困りごとを一人で抱えていませんか？

社会福祉協議会では、相談窓口を設けてあります。問題を解決できるように必要な機関とも協力しながら、ご自身の力を出せるようにお手伝いをしていきます。相談は無料で秘密は厳守いたします。どうぞお気軽にご相談ください。

＜連絡先＞玖珠町社会福祉協議会 自立相談支援窓口 担当/青盛・長 ☎ 72-5001

## 平成29年度無料障害年金相談のご案内

\* 「障害年金」は、病気やけがによって生活や仕事などが制限されるようになった場合に、現役世代の方も含めて受け取ることができる年金です。

**奇数月の最終火曜日**に開設します。予約制ですので、お早目の予約をお願いいたします。

○開催日：5月30日・7月25日・9月26日・11月28日・

平成30年1月30日・3月27日

○開催場所：玖珠町老人福祉センター 相談室

○時 間：午後1時30分～4時まで  
(1人30分程度)

○相談員：年金アドバイザー

○お問い合わせ○

ふれあい総合相談センター ☎ 72-5001

## 平成29年度無料法律相談のご案内

玖珠町社会福祉協議会では、**偶数月第3水曜日**に、無料法律相談を開設しています。予約制ですので、お早めの予約をお願いいたします。

○開催日：4月19日・6月21日・8月16日・10月18日・12月20日・  
平成30年2月21日

○開催場所：玖珠町老人福祉センター 相談室

○時 間：午後1時30分～4時30分まで  
(1人30分程度)

○対 応：一木法律事務所 一木 俊廣弁護士

○予約申し込み○

ふれあい総合相談センター ☎ 72-5001



「点訳をはじめ、色々な形でたくさんの方と出会うことができ、自分の生きがいに繋がっています。また、自分自身が楽しめるボランティアを心掛けて、今後も生涯学習の一環として取り組んでいきたいと思います」とおっしゃっていました。

これからも、益々の活躍をお祈りしています。

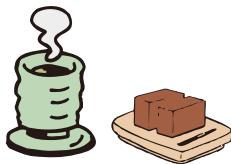
今回のキラッさんは、ボランティア活動をされている芝原実千代さんです。新聞のコラムや短歌、広報誌「めるへん」などの点訳を、ボランティアで長年していただいている。その他にも平成16年から始められたふれあい弁当の調理や、ハーモニカ演奏での施設慰問、サロンサポートとして八幡地区のサロンの支援など幅広くボランティア活動をされています。

今回のキラッさん☆

## 地域のつながり応援事業 サロン交流会 開催される

平成29年2月2日（木）大分県教育会館（多目的ホール）にて圏域別サロン交流会全体会が開催され、県内のサロンリーダーが集い、玖珠町からは6名が参加しました。

交流会の趣旨説明後、「カフェ」で行うような、オープンで自由な会話を通じてこそ、活き活きとした意見の交換や新たな発想の誕生が期待できるという考え方に基づいた話し合いの手法、”ブルドカフェ”を用いて、テーブルを移動してたくさんの方とお茶を飲みながら、情報交換が行われました。



今日は迎えに行くこともあります。まずは、健

康づくりから取り組んでいこうとめじろん元気アップ体操で、転倒予防・体力づくりに努めています。交通安全教室や、ゲームで賑い程度の参加があり、終了後は女性の方が持ち寄った沢山の手作りのおやつや漬け物でお茶を飲みながら会話に花が咲きます。



## アセラボ新聞の通信

古後下りサロンです。老人クラブ活動の傍ら、サロン活動にも毎月取り組んでいます。

高齢者が多いので開催の声掛けや、遠くの方は迎えに行くこともあります。まずは、健

いきいきサロンは、自宅から歩いて行ける場所に集い、みんなで活動内容を企画しふれあいを通して生きがいづくり、仲間づくりの輪を広げる住民主体の活動です。地域の介護予防の拠点としての機能も担っています。何かを行わなければならない等の、制約はありません。最近は子どもから高齢者まで多世代が集まる場にもなっています。

## サロンをはじめませんか



詳しいことは玖珠町社協までお問い合わせください。

電話 72-5513 担当 衛藤

# 介護保険のお話 ③



「要支援や要介護の区分がよく分からぬ。どのような状態がどの区分になるのか。」といった質問を受けることがあります。

介護認定の要支援・要介護の区分は、身体や判断力の状態を町の調査員が聞き取り、その調査結果とかかりつけの主治医の意見書を元に、介護認定審査会にて介護にかかる時間がどれくらいかかるかといった全国的に決まった指標で判断されています。

介護が必要な方をその状況に合わせて5段階に分類したものが「要介護認定」です。それに対して日常生活に不便をきたしていて、現在は介護の必要はないが、将来的に要介護状態になる可能性のある人が2段階に分類される「要支援」です。

介護認定が必要になる原因は、例えば同じ要介護3でも身体機能の低下なのか、認知症によるものか、もしくはその両方、などさまざまなものが考えられます。そのため「この病気のときは要介護3になる」といった性質のものではありません。

一概には判断できませんが、非常に大まかな目安として次のような状態と考えられます。

**要支援1：日常生活は、ほぼ自分で行うことが可能だが何らかの支援が必要な状態**

**要支援2：要支援1と比べて能力がわずかに低下し、何らかの支援が必要な状態**

**要介護1：部分的に介護が必要**

**要介護2：日常動作にも部分的に介護が必要**

**要介護3：日常動作でほぼ全面的に介護が必要**

**要介護4：介護なしでは日常生活が困難**

**要介護5：介護なしでは日常生活が送れない**

実際の介護の区分については個人の状態で大きく異なるので、個別のケースについては介護認定の審査によります。よりくわしくは地域包括支援センターや居宅介護支援事業所（ケアマネージャー）などに問い合わせてみてください。

## ノルディック・ウォークキングで 汗を流してみませんか

昨年から玖珠町総合運動公園で月に1回行っていた、ノルディック・ウォークが新年度は大分県教育委員会の支援を受けて開催されます。



多くの方が体験出来るように、ポールの無料貸出しがあります。高齢者から若い方まで誰でも参加できます。足腰に不安がある方にもお薦めです。詳しくは社協まで、お問い合わせください。

**お問い合わせ先：玖珠町社会福祉協議会**  
**☎ 72-5513**





(平成28年12月19日)

～平成29年2月18日)

香典返し

殿 町 朝倉美智子 様	殿 町 朝倉美智子 様
西の3 西野 英治 様	金山町 森田千鶴子 様
門 出 梅木 英則 様	上田新町 宮本 文子 様
帆足本村1 麻生 要吉 様	唐 杉 野上 靖洋 様
匿 名 衛藤 栄一 様	倉 園 繁田 淳一 様
2件	小野原1 麻生 要吉 様

ご本人ご家族の了承を得て掲載しています

今年も  
いたきました

今年も玖珠九重農協稻作部会より、地元産ひとめぼれの新米60kgを寄贈いただきました。

地域への貢献活動として、11年前より行われています。

当日は石井龍文部会長より目録と新米が石井社協会長に手渡されました。

早速、デイサービス利用者のみなさんの昼食に使わせていただきました。

春は花の季節であると同時に「出会い」と「別れ」の季節でもあります。新入学、進級、入社、その前に卒業や退職、転勤もあります。春は年度の『境目（さかいめ）』です。それはまた、『人生の分岐点』の一つでもあり、数々の出会いと別れが待っています。

春は花の季節であると同時に「出会い」と「別れ」の季節でもあります。新入学、進級、入社、その前に卒業や退職、転勤もあります。春は年度の『境目（さかいめ）』です。それはまた、『人生の分岐点』の一つでもあります。

かねがね、この時期になると、私の脳裏に浮かぶ言葉がありました。  
**『別れは必然であるが、出会いは偶然である』**  
 人は偶然である出会いを喜び、必然である別れを悲しむことで成長していくのだと思います。

若者には、ほぼ毎年の別れと出会いの体験をしつかりと受け止めて、雄々しく羽ばたいてほしいものです。

中高年になると、新たに人に出会うことが少なくなります。  
 確かにそうなのですが最近、いろんな会（お酒の会が多い）で、話していると、意外な人の意外な面に出会うことが多くあります。うわべだけでつき合っていたら、気付くことがないかも知れませんが、話し込んでいるとその方が大切にし、拘（こだわ）っているものに触れることがあります。

そんな時に私は、もともとは偶然の出会いで始まったその方との関係が必然のものであつたかのように実感するのです。  
 春爛漫（らんまん）の桜花を愛でつつ、今年の「いい出会い」を経験していきたいものです。

## 一期一会

## 「春の訪れ」

社会福祉法人 玖珠町社会福祉協議会

会長 石井由久雄

# 4月・5月のスケジュール

日	月	火	水	木	金	土
3 / 26	27 ■老人福祉センター休館日	28 ■障害年金無料相談会 ■ふれあい福祉バス(大野原線・伐株線・山浦線) ■男性ふれあい広場(老人福祉センター)	29 ■ふれあい福祉バス(鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	30 ■ふれあい福祉バス(小野原線)	31 ■ふれあい福祉バス(鏡山線・小田線・山浦線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	4 / 1 ■おもちゃ図書館(福祉センター)
2	3 ■老人福祉センター休館日	4 ■ふれあい福祉バス(大野原線・伐株線・山浦線)	5 ■ふれあい福祉バス(鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター) ■給食サービス	6 ■ふれあい福祉バス(小野原線)	7 ■ふれあい福祉バス(鏡山線・小田線・山浦線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	8 ■おもちゃ図書館(福祉センター)
9	10 ■老人福祉センター休館日	11 ■ふれあい福祉バス(大野原線・伐株線・山浦線)	12 ■ふれあい福祉バス(鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	13 ■ふれあい福祉バス(小野原線)	14 ■ふれあい福祉バス(鏡山線・小田線・山浦線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	15 ■おもちゃ図書館(福祉センター) ■給食サービス
16	17 ■老人福祉センター休館日	18 ■ふれあい福祉バス(大野原線・伐株線・山浦線)	19 ■ふれあい福祉バス(鳥屋線・日出生線) ■法律相談会(要予約) ■いきいき元気教室(ともに老人福祉センター)	20 ■ふれあい福祉バス(小野原線)	21 ■ふれあい福祉バス(鏡山線・小田線・山浦線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	22 ■おもちゃ図書館(福祉センター)
23	24 ■老人福祉センター休館日	25 ■給食サービス ■ふれあい福祉バス(大野原線・伐株線・山浦線) ■男性ふれあい広場(老人福祉センター)	26 ■ふれあい福祉バス(鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	27 ■ふれあい福祉バス(小野原線)	28 ■ふれあい福祉バス(鏡山線・小田線・山浦線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	29(昭和の日) ■おもちゃ図書館(福祉センター)
30	5 / 1 ■老人福祉センター休館日	2 ■ふれあい福祉バス(大野原線・伐株線・山浦線)	3 (憲法記念日) ■ふれあい福祉バス(鳥屋線・日出生線)	4 (みどりの日) ■ふれあい福祉バス(小野原線)	5 (こどもの日) ■ふれあい福祉バス(鏡山線・小田線・山浦線)	6 ■おもちゃ図書館(福祉センター)
7	8 ■老人福祉センター休館日	9 ■ふれあい福祉バス(大野原線・伐株線・山浦線)	10 ■ふれあい福祉バス(鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	11 ■ふれあい福祉バス(小野原線)	12 ■ふれあい福祉バス(鏡山線・小田線・山浦線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	13 ■おもちゃ図書館(福祉センター)
14	15 ■老人福祉センター休館日 ■給食サービス	16 ■ふれあい福祉バス(大野原線・伐株線・山浦線)	17 ■ふれあい福祉バス(鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	18 ■ふれあい福祉バス(小野原線)	19 ■ふれあい福祉バス(鏡山線・小田線・山浦線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	20 ■おもちゃ図書館(福祉センター)
21	22 ■老人福祉センター休館日	23 ■ふれあい福祉バス(大野原線・伐株線・山浦線) ■男性ふれあい広場(老人福祉センター)	24 ■ふれあい福祉バス(鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	25 ■ふれあい福祉バス(小野原線) ■給食サービス	26 ■ふれあい福祉バス(鏡山線・小田線・山浦線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	27 ■おもちゃ図書館(福祉センター)
28	29 ■老人福祉センター休館日	30 ■ふれあい福祉バス(大野原線・伐株線・山浦線) ■障害年金無料相談会	31 ■ふれあい福祉バス(鳥屋線・日出生線)	6 / 1 ■ふれあい福祉バス(小野原線)	2 ■ふれあい福祉バス(鏡山線・小田線・山浦線)	3 ■おもちゃ図書館(福祉センター)

言えますか?  
二月に開催された支えあ  
いマップ作り講演会、その  
中で印象的だったのは、「助  
けて!」と言えるかという  
ことでした。講師の木原孝  
久先生が支えあい、助け合  
いと言つても、「助けて」  
と言わないのに、どういう  
いから周りも関わらない、  
助けが必要なのかわからな  
いと言つても、「助けて」と  
言えなければ  
何も進まないとおっしゃる  
れていました。  
マップ作りに取り組む自  
治区の皆さん方が増えること、  
「助けて」と言える方が増  
えること、お世話をさん  
が増えること、新年度は期  
待したいと思いま。

(工)



## 老人福祉センター施設ご利用の皆さま

星翔中学校施設整備工事のため、  
メルサンホール第2駐車場が主  
な駐車場となっています。  
ご不便をおかけいたしますが、  
なにとぞご協力よろしくお願  
いいたします。